

Together

50th
ANNIVERSARY
かわらないもの。かわってゆくこと。

2015 Summer <http://www.shukutoku.ac.jp>

SHUKUTOKU



Cover Person
青木 春野さん
こども教育学科2年

学長メッセージ

空間と時代を越えた連携を

ともいきのこころ

ベトナム人介護士候補生と
淑徳大学生との国際交流イベント

淑徳調査団

教育学部のオープンキャンパス

淑徳人

御宿町役場 保健福祉課 保健師
矢ノ口 未来さん

NEWS CLIP

知識モリモリ × 栄養モリモリ
日焼けとビタミン

広がる、深まる、貢献する、
地域連携の取り組み

207
2015.7.1

一季一言

空間と時代を越えた連携を

あきら
学長 足立 毅

学祖・長谷川良信先生は開学にあたり、福祉や教育の専門家を育成することはもちろん、さまざまな専門家や地域の人々を結びつけて組織的な活動をリードできる「オルガナイザー」を育てることを目標に掲げました。たとえばソーシャルワーカーとして教育や健康の知識があれば有効ですし、民間企業や行政で働く上でも様々な人々がもつ知見や意見を調整する能力が必要でしょう。

大学教育では、知識だけでなく、それを社会で活かすための能力を身につけることが一層重視されています。そのため、地域の中で地域の人々と共に学ぶ環境を提供することが不可欠です。本学でも各学部・キャンパスと自治体・企業・団体等との連携協定の締結を積極的に進め、様々な活動の活性化の弾みになっています。活動を通して学生が社会で自分を活かす力を身につけ、同時に地域に貢献していく。教育と社会貢献は一体のものです。今後ますます連携の輪を広げていくことは言うまでもありません。

こうした学びを推進していく上で、本学がこれまで築いてきた歴史や実績が大きな支えになっていることを忘れてはいけません。開学当初の龍澤祭の前夜祭では、学生達が神輿をかついで白旗商店街を周りアピールしていました。そして今や、地域の方々に「私たちの大学」と言っているまでになっています。地域連携による人間開発・社会開発は、時流に合わせたものではなく、本学は50年の歴史で一貫して取り組んできたものです。

そして、次の50年が始まります。これまでの卒業生の方々がそれぞれの地域や持ち場で「オルガナイザー」として築いてきたつながりや信頼を私たちは受け継ぎ、さらに広がっていかねばなりません。学習や体験は在学中の4年間だけでなく、むしろ社会に出てから真価が問われるのです。

首都圏で、地方で、将来の活躍の場は様々でしょう。場所と時代を越えて共生の輪を広げて、本学への信頼と期待がいつそう高まっていくことを願っています。



白旗商店街の七夕まつりにて(左から2人目が足立学長)

埼玉キャンパス学部開設20周年事業

本年は、淑徳大学創立50周年、埼玉キャンパスにおいては学部を開設して20年となりました。この節目の年を記念し、創立50周年事業の一環として、埼玉キャンパスでは様々な事業を計画しています。

ホームカミングデーと学部開設20周年祝賀会を開催

今年度は、ホームカミングデーと学部開設20周年を記念して在學生、卒業生、保護者、地域の方々、教職員が一体となって「祝賀会」を合同開催いたします。



皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

日時 | 2015年10月24日(土) 17:30~
場所 | 埼玉キャンパス体育館

ランチ募金

本学は東日本大震災の継続的な復興支援のために、多くの学生がボランティアに参加しています。そのボランティア活動に参加する学生を支援するために、生活協同組合との共同企画で学食メニューの一部に20円をプラスした「ランチ募金」を実施しています。



期間 | 2015年5月～2016年3月

「 commons 写真展」を開催

埼玉キャンパス内の風景、学生の活動の様子、働く人たちの姿などキャンパスにかかわる写真を募集します。応募いただいた作品は選考の上、図書館1階展示コーナーで展示し、入賞者には賞品が授与されます。埼玉キャンパスの在學生・卒業生・教職員の皆様、奮ってご応募ください。

応募に関しては、みずほ台図書館ホームページをご覧ください。
<http://www.shukutoku.ac.jp/library/saitama/>



第1回特選作品▶

「淑徳大学50年のあゆみ展」開催のお知らせ

淑徳大学は、本年創立50周年を迎えました。大学ではこれを期に、1965年(昭和40)の開学以来50年にわたってわが国の社会福祉の発展に寄与してきた本学の足跡をあらためて検証し、建学の精神をふまえてさらに今後の本学の進むべき道について思いを致すことを目的として、「淑徳大学50年のあゆみ展」を開催します。

大乗仏教の「利他共生」の理念に基づき、「together with him(彼と共に)」の実践を通じて理想社会の建設と真実な人間の育成をめざし、「宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・社会開発」を実現するという本学の建学の精神とともにあゆんできた50年の歴史をご覧いただければと思います。



期間 | 2015年7月9日(木)～12月25日(金)
場所 | 千葉キャンパス 淑水記念館 3階・4階

*詳しくは淑徳大学アーカイブズのホームページをご覧ください。
*同時期に埼玉キャンパス1号館1階と東京キャンパス4・5号館2階でも「淑徳大学50年のあゆみ展」を開催します。

淑徳大学創立50周年記念事業

学祖50回忌・50周年記念式典・50周年祝賀会

創立50周年記念式典(9月26日)の開催がいよいよ迫ってきました。

テーマは「～受け継がれる“TOMO-IKI”～地域から社会、そして世界へ」です。学祖・長谷川良信先生が建学の精神として掲げた“共生”の思想が、キャンパスや学部・学科の展開を通してどのように広がってきたのか、地域・社会そして世界に向けてどのように広がっているのか、未来に向けてどのような可能性を秘めているのか、本学の伝統と将来のビジョンを共有し、学祖のバトンを受け継ぐ誓いを新たにします。当日は、午前中に学祖50回忌が執り行われ、午後からは森田健作千葉県知事をはじめとする千葉・埼玉・東京各キャンパス縁の自治体首長もお招きした記念式典・祝賀会を開催予定。学祖の足跡と本学の歴史の紹介、海外からのメッセージが盛り込まれた映像も上映されます。

この他、50年のあゆみ展開催、Together with himのモニュメントの造立、国際学術フォーラム・日本仏教社会福祉学会開催などの記念事業も着々と進行しています。

国際学術フォーラム 「アジアのソーシャルワークにおける仏教の役割」

日時 | 2015年10月9日(金) 13:00～17:00 (12:15開場)
場所 | 千葉キャンパス (5号館201教室)
申込先 | bukkyo@soc.shukutoku.ac.jpまで、お名前、ご所属、関心分野をお書き添えの上、メールにてお申込みください(参加費:無料)。

なお、10月10日(土)～11日(日)には、日本仏教社会福祉学会第50回大会が同キャンパスにて開催されます(詳細は学会ホームページをご覧ください<http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/>)。

Cover Person

表紙の人.....

青木 春野 さん

教育学部 子ども教育学科 幼児教育コース 2年生
サークル: パネルシアタークラブ PITA PETA、
S.M.C (Shukutoku Music Club)

自分が通っていた保育園の先生に憧れ、保育士を目指すようになりました。フィールドスタディーなど現場に多く出て実習ができる場所に惹かれ、淑徳大学に入学しました。人前が出るのは苦手でしたが、パネルシアターのサークルでたくさんの子どもの前で演じる経験を何度も重ねるうちに人と接することが好きになり、大きく成長できたと思います。将来は、いつも笑顔で子どもたちの気持ちに寄り添った保育ができる保育士になりたいです。



広がる、深まる、 貢献する、 地域連携の 取り組み

「共生(ともいき)」=

“Not for him, but together with him.”

この精神に基づき、学祖・長谷川良信先生は

「宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・社会開発」

を自らの使命として掲げました。

人間開発・社会開発とは、人材育成や地域・社会への貢献を意味し、

淑徳大学は、地元行政・企業・社会団体と連携して、

様々な活動をしてきました。

今回の特集は淑徳大学がこれまで行ってきた

地域連携・地域貢献の事例を紹介します。

地域連携・地域貢献に関する協定(一部)

千葉campus

- 千葉市 相互連携協力協定
 - 白旗七夕まつり支援活動
 - ゆうあいピック支援など
- 千葉県社会福祉事業団 連携協力包括協定
- 千葉中央警察署 地域安全に関する覚書
 - 防犯パトロールボランティアなど
- ジェフユナイテッド株式会社 パートナーシップ包括協定
- 千葉ロッテマリーンズ パートナーシップ包括協定
 - 淑徳ナイターの開催など
- 常盤平団地自治会(松戸市)提携協力に関する協定
- 茨城県笠間市と淑徳大学との連携協定
- 生実町町内会との包括協定
- 匝瑳市、匝瑳市商工会「そうさプロジェクト」

千葉第2campus

- 国立病院機構千葉東病院・淑徳大学看護栄養学部 連携協議会
 - 千葉東病院クリスマスコンサートなど
- 千葉市松が丘地区との連携事業: 住民参加と地域資源の協働による「安全・安心のまちづくり」

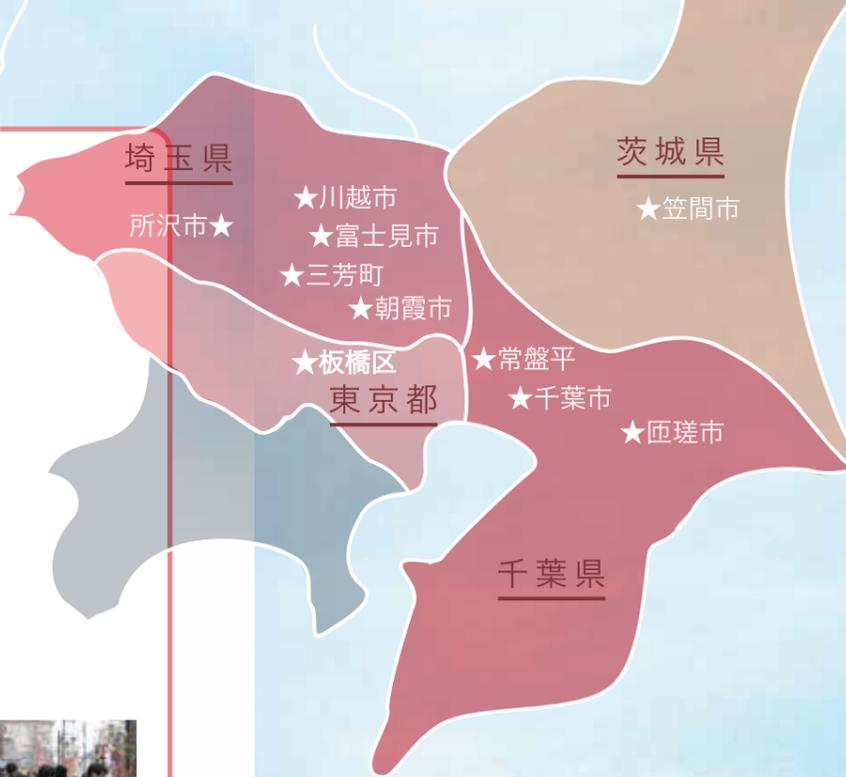
東京campus

- 東京都板橋区と淑徳大学との地域連携に関する基本協定
- ハッピーロード大山商店街とHEARTサークルの連携活動

埼玉campus

- 淑徳大学と三芳町との連携協力に関する包括協定書
 - 三芳町教育委員会 生涯学習課 「子ども大学みよし」「コミュニティカレッジ」など
- 淑徳大学と富士見市との連携協力に関する包括協定書
 - 富士見市教育委員会生涯学習課 「子ども大学ふじみ」「子どもスポーツ大学ふじみ」など
- 富士見市青少年育成市民会議「夏休み子ども宿題教室」
- 川崎市「川崎市若者誘客大学連携事業」
- 所沢市、富士見市、三芳町「淑徳子育て支援プログラム」
- 朝霞市・川崎市・所沢市・富士見市・三芳町各教育委員会「淑徳教師養成塾」

※ 諸資格に関する協定は掲載していません



1 千葉都心イルミネーション・ルミラージュちば 人の心も明るく照らそう!

地域連携



年末年始に千葉駅前で開催される「千葉都心イルミネーション・ルミラージュちば」に市民参加を盛り上げる企画で本学は「空きペットボトルを活用した手作りLEDランタン」として子どもたちと

のワークショップを千葉市内5か所で開催しました。ワークショップでの作品を千葉中央公園に飾り家庭から出された廃油を活用し点灯しました。

2 白旗七夕祭り 子どもやお年寄りも楽しく!

千葉キャンパスの地元白旗町内会と商店会との協働による地域活性化事業。ボランティアセンターをはじめ千葉キャンパスのボランティア学生がスタッフとして参加します。地元商店の出店のほか、後援しているジェフユナイテッドの抽選会などが行われ、地域の子どものお年寄りからも好評を得ています。千葉市長もオープニングセレモニーに参加するなど、白旗地区に欠かせない行事として定着しました。



3 白旗 絆カフェ さまざまな世代の交流の場を提供

「マッシュRoom」の後継施設として平成24年より稼働中。ボランティアセンター学生常任支援委員の企画運営により週3回オープンし、さまざまな世代の方々の交流の場を提供しています。「地域に愛される商店街づくりと地域のみなさんが笑顔になれる」ことが運営にあたっての目標です。



地域連携

5 淑徳大学・生実町 プレイパーク実行委員会

淑徳大学と生実町内会が運営している子どもと保護者、地域高齢者との交流会です。毎月1回、開催しています。8月には「淑徳寺子屋塾」として夏休み自由研究、山遊びを企画。子ども達が高齢者から遊びを教わるなど、交流を促進する事業を展開しています。



千葉市「花のあふれるまちづくり」シンボルキャラクター「ちはなちゃん」

4 ゆうあいピック ボランティア初心者でもOK

平成20年に千葉市保健福祉局高齢障害部と結ばれた連携協力がきっかけとなり、障がい者スポーツ大会の運営支援を行っています。ボランティア初心者でも参加可能なイベントです。ボランティアとして参加した学生は「とても貴重な経験ができた。これからも率先して活動していきたい」と語っています。



大会参加者と一緒に行動します

地域連携

地域連携



10 みよしまつり・みずほ台祭り

様々なかたちで学生が地域に浸透

8月最後の土曜日には、東武東上線の「みずほ台」駅周辺で、西みずほ台商店会主催の「みずほ台祭り」があり、毎年2万人以上の人々が祭りに参集します。淑徳大学からは、学生団体からc.f.c(カレッジ・フェスタ・コミティ)が本部付きで、S.M.C(Shukutoku Music Club)やダンスサークルが、パフォーマンスで参加してきました。また、長年の西みずほ台商店会との協働が実って、現在「淑徳大学50周年・埼玉キャンパス20周年」の旗が

街中に飾られています。一方、9月最初の土曜日には、大学隣の三芳町役場と町の運動場・駐車場で「みよしまつり」が行われ、毎年4万人以上が集い、様々なパフォーマンスが行われます。とくに、みよしまつりの打ち上げ花火は、華麗で人気があります。ここでは、c.f.cの学生がイベントの司会として、また、経営学部の学生が今年度から「ボランティア研修」の授業の一環として、祭りの運営に参加しています。

地域連携



MIYOSHI town
×
SHUKUTOKU UNIVERSITY



お祭りの設営も重要な仕事です。

11 看護栄養学部と千葉市松が丘地区との連携

全学部生を対象としたボランティア活動が地域で活発に行われています



原口幸さん MIYUKI HARAGUCHI

看護学科 2年

私は以前よりボランティア活動の経験があり、「ボランティア講座」では、主に子供達と関わる中で様々な気づきがありました。ボランティアは「させてもらっている」のだということを忘れずに自分の時間と気持ちの余裕を見つけて活動していきたいです。また、地域で待っている方々のことを知ることによって、ボランティアしたことによって迷惑にならないような知識を身につけた上で活動し、自分自身も成長できたら良いと思います。



地域連携

看護栄養学部が位置する千葉市松ヶ丘地区は少子高齢化が顕著な地域であり、以前から地域活力の低下が危惧されていました。そのため、地域が本学に集積する健康に関する知識や情報の活用、また不足する若い人材力に対する期待は多大なものでした。そのため、開設当初より地域コミュニティの活性化に向け、教職員・学生による活動を積み重ね

てきました。平成23年度には地域と本学部、千葉市が連携協働し「安心・安全まちづくり」のモデル地区として県に承認され、地域の方々が集い、本学の地域貢献の拠点となる「ひだまり」が完成しました。本学の地域連携委員会はこのような経緯から平成24年に設置されました。その役割は、①教員による地域住民に対する健康教育(講演・相談・健康チェック)、

②地域における学生ボランティアの2つが核となっています。平成26年度には正課外科目として「ボランティア講座」が開設され、全学部生を対象としたボランティア活動が地域で活発に行われるようになり活動の幅は年々拡大しています。地域住民からも大変喜ばれており本学部に対する期待の高さを実感しています。

6 学生消防団

全国初の大学生消防団

地域連携

平成21年に結成され、現在は「千葉市消防団 第3分団5部」として活動。全国初の大学生消防団です。日ごろから訓練に励むとともに、地域の安全を守る防災組織としての活動に加えて、ポンプ操法大会への参加や、防災訓練での模範演技の実演、その他も保育園や小学校での防災についての説明指導を行うなど地域支援活動に取り組んでいます。



CHIBA city
×
SHUKUTOKU UNIVERSITY

7 千葉市生活保護世帯等学習支援事業

学生ボランティアとして学習支援を

千葉市との包括協定のもと、千葉市保健福祉局保護課が主管している千葉市生活保護世帯等学習支援事業に、今年度から本学の学生が学生ボランティアとして参加することになりました。この事業は、生活に困窮している世帯の中学2年生と3年生に対し、高校へ進学するために必要な学力を身に付ける機会を提供するものです。早速6月22日に社会福祉学科2年生2名、23日に教育福祉学科3年生1名、25日に教育福祉学科3年生1名と社会福祉学科2年生1名が、千葉市中央区と稲毛区の保



教育連携

健福祉センターへ出向いて、支援対象の子どもたちに支援を行いました。更に、7月から教育福祉学科1年生5名が加わって、学習支援を行っていく予定です。

8 発達臨床研究センター

一人ひとりの子どもに合わせた発達支援を

発達臨床研究センターは、1~6歳の発達につまずきを示す子どもに対する、発達支援活動ならびに療育方法の研究を行う施設です。1972年の開設当初から、地域の子どもたちと一緒に活動してきました。たくさんのオリジナル教材と、音楽療法と運動療法を組み合わせたアクティビティを開発し、一人ひとりの子どもに合わせた発達支援を行っています。さらに他大学にはない特色として、学部3・4年生が実習生として療育場面に参加し、実践的に子どもの発達を学ぶことができます。子どもたちとどの教材を

使ってかわるか、実習生が実際に考え、個別学習を毎週担当します。子どもの発達や使用教材と活動に興味のある方は、随時受け付けています。



教育連携

9 ジェフユナイテッド株式会社 パートナーシップ包括協定

大学とジェフと一緒に始めてできる活動を



地域連携

黄色いかざぐるまプロジェクト

2010年6月にジェフユナイテッド株式会社とパートナーシップに関する包括協定を締結しました。当初はスタジアム見学やゲームボランティアなどジェフと大学の関係でしたが、現在では大学とジェフが協働して地域のびとと一緒にこなう活動へと徐々に広がっています。ジェフ子どもサッカー教室でのお手伝い、蘇我地区住民・企業・千葉市・淑徳大学の協働事業「黄色いかざぐるま

プロジェクト」、白旗七夕祭りなど、大学だけでもジェフだけでもできないサービスラーニング活動が増えています。今年は白旗町内の皆さんと大学スクールバスでジェフを応援に行く「ジェフ応援バスツアー」を初開催します。淑徳大学の学生はとても素直と一緒に活動しようとする姿勢が素晴らしいとジェフや地域の方々から言ってくれています。

14 川越市若者誘客大学連携事業

川越市、立教大学、跡見学園女子大学との協働事業

川越市への観光客は年間600万人を越えますが、若年層が少ないことが課題でした。そこで川越市観光課は、市周辺の観光系3大学—淑徳、立教、跡見学園女子—と連携し、若年層誘客施策を立案・実行することとしました。経営学部観光経営学科では、2013～2014年度、朝倉先生の担当科目(「埼玉の観光研究」と3年ゼミ)の学生がお手伝いしました。2013年度は川越を「夜のデートの街」として若年層に周知するイベントを12月に実施、当大学はイベント参加者に渡す「夜

ごはんMAP」を作成しました。2014年度は「夜ごはんMAP Part2」を作成、前年度に引き続き、学生自身がレストランを覆面調査して原稿を書きました。2種類のマップは、川越市の観光案内所や埼玉キャンパスのオープンキャンパス等で高校生に配布しており、大変好評です。この事業は2年間で終了しましたが、観光経営学科では、毎年1年生が川越視察を行い、それを踏まえてレポートを書くなど、学生と川越との接点を設けていく予定です。

学生自身がレストランを取材して作成した「夜ごはんMAP」(左、2013年度)、「同 Part 2」(右、2014年度)



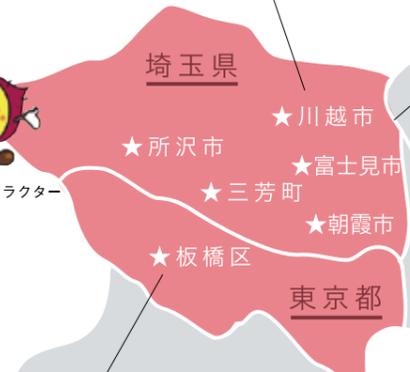
マップの大きさや形状の検討会議(2013年度)



地域連携



川越市マスコットキャラクター「ときも」



いたばし観光キャラクター「りんりんちゃん」

ITABASHI × SHUKUTOKU UNIVERSITY

15 ハッピーロード大山商店街とHEARTサークルの連携活動

東京キャンパスがある板橋区は庶民的な商店街が多く、それぞれ賑わいを見せています。その一つ、ハッピーロード大山商店街と学生がコラボレートした活動が展開されています。本学と板橋区は2014年3月に地域連携に関する基本協定を締結。さらにこの活動は、人文学部表現学科教授の白寄先生が長年、板橋区文化・国際交流課で講座を担当している関係で、ハッピーロード大山商店街振興組合事務局と人文学部のHEARTサークルの繋がりができ、始まったものです。まずは「ハッピーロード大山商店街の魅力を学生の視点から発信する」ことをテーマに、ハッピーロードTV(商店街が運営する動画放送)の番組の一部を企画・立案から取材、VTR制作まで行い、



生放送番組に出演しました。取材を通して、商店街や地域の方々に触れ、大学の中だけでは学ぶことのできない貴重な体験ができました。2015年度は「Clean HEART Project」を行います。HEARTサークルが呼びかけ、学生によるゴミ拾いからスタート。そして、自治体の方と話し合いながら、将来的には区民の方々と一緒に地域に根付いた活動に広げていく構想です。



表現学科 2年

成井勇人さん HAYATO NARUI
根津瞳さん HITOMI NETSU

構成案の書き方や、撮影の裏方の仕事、生放送中の対応など、実践的なことを学ぶ貴重な経験となりました。また地域の人々と交流し、淑徳大学人文学部一期生として地域のTVに協力できたことを誇りに思います。今回のハッピーロード大山TVでの経験を今後のサークルや、将来就職した時など、様々な面で活かしていきたいと思っています。



地域連携

KAWAGOE city

× SHUKUTOKU UNIVERSITY

12 淑徳教師養成塾

実践的指導力を目指して

淑徳教師養成塾は小学校教員を目指す学生達に、近隣市町の教育センター研修会への参加や小学校でのボランティア活動を通して、実践的に学ぶ場を提供するものです。これに先立ち、平成24年5月に朝霞市・川越市・所沢市・富士見市・三芳町の教育委員会と教育連携に関する協定が締結されています。正課科目である「フィールドスタディーⅠ」では、毎

年2月に、初等教育コースの1年生が締結先4市1町の小学校約40校で2週間の体験実習を行っています。そして多くの学生が引き続きその体験実習校でスクールボランティアに取り組み、実践的指導力を身に付けるために学び続けています。また、夏季休業期間中には、川越・所沢市教育センターでボランティア活動を行い研修会に参加しています。



左：朝霞市「彩夏ちゃんのサマースクール」で学習支援をする学生。
右：9月に実施される「夏季淑徳教師養成塾」の報告会

FUJIMI city・MIYOSHI city

× SHUKUTOKU UNIVERSITY

13 子ども大学ふじみ 子どもスポーツ大学ふじみ 子ども大学みよし

学生がサポーターとして子どもたちを応援



富士見市のマスコットキャラクター「ふわっぴー」

埼玉キャンパスも会場のひとつです。



教育連携

子ども大学は、埼玉県が進める取り組みで、大学のキャンパス等を会場に、大学教授や地域の専門家等が講師となり、小学生の知的好奇心を刺激する講義や体験授業を行うものです。埼玉キャンパスでは、富士見市と「子ども大学ふじみ」(平成24年度スタート、小学4年～6年定員60名)と「子どもスポーツ

大学ふじみ」(平成26年度スタート、定員30名)を経営学部観光経営学科の岩村先生が実行委員長となって市民団体も交えて進め、また、三芳町と「こども大学みよし」(平成25年度スタート、定員40名)を教育学部子ども教育学科の河津先生が実行委員長となって、町の商工会議所、公民館、社会福祉協議会等

を交えて進めています。各子ども大学では、淑徳の学生が学生サポーターとして、授業や視察会、ワークショップで子どもたちを応援しています。今までに銀行・工場・放送局見学、大学講義・ワークショップ・スポーツ体験等を行いました。

日々の勉強がやりがいのある仕事につながる

保健師になるという目標をもって、淑徳大学に入学した矢ノ口未来さん。大学で日々勉強したことは保健師の仕事をするうえでも役に立っているといます。大学で学んだことが今の仕事にどのようにつながっているのか、矢ノ口さんに聞いてみました。



長野県生まれ。2012年、看護学部卒業。保健師。現在は千葉県夷隅郡の御宿町役場・保健福祉課に保健師として勤務している。淑徳大学在学中は、保健師・看護師の資格を取得するための勉強に励む傍ら、アルバイトや軟式野球のサークルのマネージャーを務めるなど、活動的にキャンパスライフを過ごしていた。

房総を代表する海岸が広がる千葉県夷隅郡御宿町役場で保健師として活躍している矢ノ口未来さん。矢ノ口さんの仕事は、成人・母子の保健や健康に関する業務、御宿町民の健康に関する教室の企画立案・運営・実行、乳児の訪問など、多岐に渡っている。そんな多忙な仕事を、「やりがいがあります」と笑顔で語る矢ノ口さん。保健師を目指した原点は、中学の総合学習の時間でした。子どもの健診に参加する授業で、健診をサポートする保健師の仕事を知りました。そして、大学で健康教育を自ら

企画し実行する楽しさを実感したことで、そうした仕事ができる保健師を目指すようになったという。「人の役に立ちたい」という目標をかなえるために、淑徳大学看護学部へ入学し、勉強に励みました。晴れて保健師として活躍している今だからこそ、淑徳大学で学んだことは大きいと矢ノ口さんは言います。「保健師の仕事は幅広く健康のことに関わるので、いろいろな知識を持つために、勉強が必要です。例えば保健指導をする際には、体の仕組みといった解剖

生理学で学んだ知識がないと話ができません。また淑徳大学は保健師の知識として重要な福祉関係のカリキュラムが充実しているのも、福祉関係の勉強をしているので、福祉関係の勉強をしていることも今の仕事につながっています。福祉関係の知識が身に着くことは、淑徳大学ならではのメリットです。また、御宿町の社会福祉士の方も淑徳大学出身ですし、いろいろな人と交流をしてネットワークを持つということも大事なことだと思います。」

現在、大学生の時に憧れた健康教育を自ら地域住民に行っている。「あなたの教え方はわかりやすかった。糖尿病の話は特にわかりやすかったよ」という参加者の方々から労いの言葉をかけていただいたことがうれしかったと言っていました。保健師を目指して積み重ねてきた勉強が今の仕事のやりがいにつながっていると感じているようです。

保健師として働きはじめて4年。将来はどんな保健師になりたいのか、矢ノ口さんは最後に力強くこう語っていました。「住民の方から慕われる保健師になりたいと思っています」

photo

photo

御宿町民に配布している、保健事業の予定表や母子保健事業などを掲載したハンドブック、糖尿病教室の際使用した資料など



新生児の沐浴練習で使用した赤ちゃん人形と(右が矢ノ口さん)



4年間、授業や実習で着用した実習服で記念撮影(中央が矢ノ口さん)



6月25日に開催されたベトナム人介護士候補生と淑徳大学生との国際交流イベント



ともいきのこころ

ベトナム人介護士候補生と淑徳大学生との国際交流イベント

今号の特集では、地域連携の取り組みの広がりを紹介しましたが、「共生き」の輪は本学から世界へと広がっています。学祖・長谷川良信先生も、青年期の欧米留学、晩年のブラジル開教と、目は広く海外に向けられていました。国際化、情報化が進む現代社会では、異なる文化や習慣や価値観を持つ人々と協働していくことがいっそう求められます。

6月25日に、ベトナム人介護士候補生を本学に招き、国際交流イベントが開催されました。この取り組みを紹介しながら、学祖がめざしたことは何か、私たちはどう学べばいいのかを考えてみましょう。

思いやりのこころは同じ

経済連携協定(EPA)に基づき、看護・介護分野で海外からの人材の受け入れが行われています。インドネシア(平成20年度から)、フィリピン(平成21年度から)に続き、ベトナムからの受け入れが平成26年度から始まりました。訪日のためにはベトナムでの研修が必要で、総合福祉学部の藤野達也先生が卒業生の関係者から協力の相談を受けたことがこの交流のきっかけです。藤野先生をはじめ、本学からは西尾孝司先生、結城康博先生がサポートに携わっています。

国際交流イベントの当日は、午前中に淑徳共生苑のほか都内・千葉県内の社会福祉施設を見学。午後は「日本の福祉と生活」「ベトナムの医療・福祉と生活」などのテーマで本学学生とグループディスカッションや発表を行い交流を深めました。一般にベトナムの人々は真面目で穏やかな性格で、日本人とも共通するところが多いと言われます。思いやりの気持ちを共有した一日でした。

ひたむきに学ぶ姿が刺激に

ベトナム人介護士候補生は、本国で看護の専門教育を受けていることを要件に、さらに日本語を1年間勉強したうえで訪日します。日本語能力試験



先生の指導のもとで本学在学学生たちとディスカッションしている候補生の皆さん

N3(日常的な場面ですら使われる日本語をある程度理解することができ)以上にパスすることが必要です。中には、家族を抱えながら参加している人もいます。それだけに、学んだり、働いたりする姿勢は真剣そのものです。英語の勉強をがんばろう、海外で見聞を広めてみよう、とみなさんは意欲的に学んでいるのでしょうか?

ベトナム人候補生たちは20代の若者ばかりで、参加した淑徳の学生たちは、そのエネルギーに大いに刺激を受けたはずですよ。

学祖の実践に学ぶ

さて、学祖・長谷川良信先生は、32歳のときに内務省嘱託および浄土宗海外留学生としてアメリカ(おもにシカゴ大学)、ドイツ(おもにベルリン女子社会事業学校)で学んでいます。もちろん客船による渡航です。ちなみに、ベルリン女子社会事業学校は学祖を男子第一期生として受け入れられました。ここで欧米の女子教育の充実ぶりに触れたことが、のちの学祖の事業に影響を与えることになったと言えるでしょう。33歳の大正12年に関東大震

災が発生し、急遽帰国の途につくことになりました。60歳を過ぎて3度のブラジル渡航を果たしたことも学祖の偉業です。1回目の視察では、約8カ月間でブラジル全二十余州を大方を踏破するなど、超人的に行動しています。大学の海外研修プログラムに南米仏教浄土宗別院「日伯寺」や「こども」などを訪ねるブラジル研修があり、この研修に参加すれば、学祖の足跡を訪ねることができそうです。

これまでも、広報誌や学校行事などのさまざまな機会でも学祖の実践を紹介してきました。それは戦前戦後の日本と海外の歴史に深く関わっています。どのような社会背景であったかを知ることで、困難な中で自ら掲げた使命に挑む学祖の姿がいつそうはつきりと理解できるはずですよ。次の50年を創っていくためにも、視野を広くもって学びと実践に励んでいきたいものです。

about VIETNAM

ベトナムは人口が—8,877万人(2012年ベトナム統計局)で、平均年齢が約27歳と若い。1975年までベトナム戦争が長引いており、多くの大人が死亡したためです。現在の人口は、経済の中心であるホーチミンに775万人で、若者が多いピラミッド型の人口構成になっています。戦争が終結した翌年の1976年にベトナム社会主義共和国が成立するまで、ベトナムは諸外国からの干渉・支配を受け続けていました。一人あたりのGDPは2012年度で1,528USドル(名目GDPは1,417億USドル)とASEANの中では低い方ですが、今後の人口増加と経済の発展が見込める国です。



Soft tennis

軟式庭球部

CHIBA Campus

- 代表者：三上 彬 (社会福祉学科2年)
- 創 部：1968年
- 部員数：24名(男子16名 女子8名)
- 活動日：月・水・金・土曜日
- 部 室：14号館7



軟式庭球部の部員の中には、中学校までやっていて大学からまた始めたという人もおり、経歴はさまざまです。私たちは技術面の向上と共に、人として成長するという目標を持ち、一日一日の練習を大切にしています。昨年度の厳しい練習にも耐え、その結果、春季リーグでは昇格することができました。その他の試合にも積極的に参加しており、着々と結果を出し、

日々の練習の成果を発揮しています。厳しくも優しくもある監督の下、それぞれの目標に向けて努力しています。ソフトテニスが好き！成長したい！やる気がある！という方は、初心者・経験者を問わず大歓迎です。ぜひテニスコートへ見学に来てください。お待ちしております。



女子ソフトボール部

SAITAMA Campus

- 代表者：篠永 はなこ (文化コミュニケーション学科4年)
- 創 部：1996年
- 部員数：15名
- 活動日：火・水・木・金・土・日曜日
- 部 室：部室棟101・102

“インカレ優勝”

これが私たち淑徳大学女子ソフトボール部のチーム目標です。その目標を達成する為に、明るく元気に日々厳しい練習に取り組んでいます。技術練習だけでなく、チームミーティングも重視し、選手全員が同じ目標に向かって努力するというを大切にしています。また、ソフトボールだけではなく1人の人間として成長できるよう、“挨拶・礼儀”を重んじ、ソフトボールを通して人間性を磨き、愛され、そして応援されるチームを創っていきたくと思っています。



【監督紹介】

増淵 まり子 (ますぶちまりこ)
2000年シドニーオリンピックソフトボール日本代表として出場(チーム最年少)。決勝戦の対アメリカ戦では先発投手として活躍し、日本の銀メダル獲得に大きく貢献した。現在ではソフトボールの普及活動と共に、指導者としても熱意溢れる指導と卓越したピッチング理論に高い評価を得ている。

2015年より
監督就任

Softball

Drama

演劇サークル

TOKYO Campus

- 代表者：廣田 拓斗 (表現学科2年)
- 創 部：2014年
- 部員数：16名(男子4名 女子12名)
- 活動日：毎週 水・木曜日
- 部 室：4F フリースペース



私たち演劇サークルは、いつも元気に楽しく活動しています。基本練習や体づくりをして、活動しており基礎から時には台本を使ったりしての練習もしています。夏からは秋の文化祭に向けて劇の練習をします。前回の文化祭では脚本や演出その他もろもろの作業を自分たちでこなし

やってきました。初心者ばかりのサークルですが中には教えることのできる経験者もいますので初心者の方でも興味がある方は大歓迎です。4階フリースペースにてお待ちしております！よろしくお祈りします。



今回のテーマは 教育学部のオープンキャンパスで徹底リサーチ！



第9回を数える「淑徳調査団」は、淑徳大学にまつわるギモンや面白そうなことを毎回メンバーがリサーチしていく企画です。今回は「私たちが淑徳大学教育学部に入学しようとした理由は何だったのだろうか？」というテーマで埼玉キャンパスの教育学部1年が徹底リサーチ！

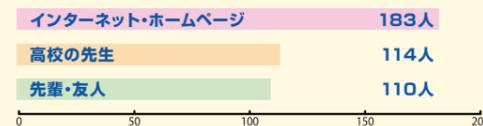
Data 1

昨年度の「オープンキャンパス」見学者に聞きました!! (回答者 542人)

(データ提供: 埼玉アドミッションセンター)

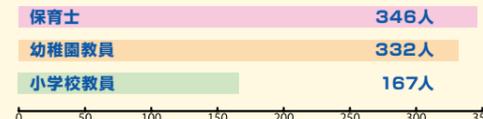
Question 1

淑徳大学を知ったきっかけは何ですか?



Question 2

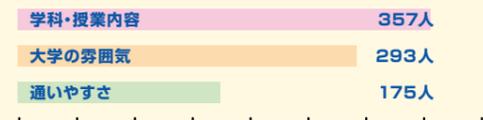
将来希望する職種は?



教育学部ということもあり、1位から3位に保育士資格や教職に集中してランクインしている。ほとんどの学生が目的を持って見学に来ていることがわかる。4年間を通して子どもについて学び将来も子どもと関わっていく仕事に就職できるというのが教育学部の魅力だ。

Question 3

志望校選択のポイントは何ですか?



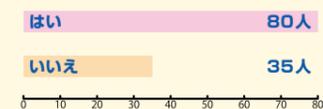
学科・授業内容や大学の雰囲気が多く、これは教育学部独自の先輩とのフリートークや養成センター教員によるパネルシアターなどの「実演と体験」が効果を上げているといえるのではないだろうか。

Data 2

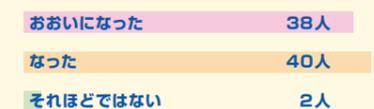
教育学部1年生全員へアンケート調査を行いました!! (回答者 115人)

Question 1

オープンキャンパスに参加しましたか?

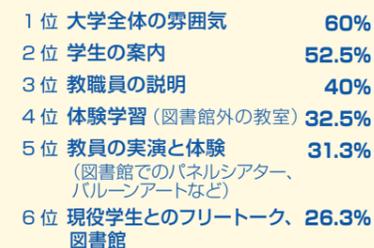


1ではいと答えた人オープンキャンパスは受験の決め手になりましたか?



Question 2

オープンキャンパスで印象に残っていることは?



Question 3

受験の決め手となったことは何ですか?

- 学生との触れ合い
- 体験授業
- 校舎がきれい
- 教員の実演と体験

Question 4

その他にオープンキャンパスで印象に残っていることは何ですか?

- 模擬面接やAO入試の模擬体験が本番同様の雰囲気です
- 校舎がきれい
- ボランティアや実習が多いと分かった
- 個別相談で親身になって話を聞いてくれた
- 食堂がきれいで学食もおいしかった
- 資料ではわからないことをたくさん知ることができた
- 受験についての説明や個別相談が充実していた

全体的に見て、学校の雰囲気や魅力を感じた人が多いと分かった。アドスタッフやその他の多くの学生の挨拶や対応はとても大事で高校生の印象に残りやすい。その面でも先輩と気軽に話せるフリートークのコーナーは高校生にとって抱えている不安を解消できる良い場になったのだと思う。また、体験型の模擬授業を行うことで入学後の自分を想像しやすくなるのではないだろうか。ホームページだけではわからない学生や教員の様子を知ることのできるオープンキャンパスは高校生に淑徳大学の良さに直接触れてもらえる良い機会である。

教育学部の「こども教育ステーション」を企画した大串先生へお話を聞きました!!



大串先生

— 図書館を利用したこの企画の目的について教えてください —
オープンキャンパスというのは第一印象が大切なんです。図書館がリニューアルして開放的なスペースができたのだから、ここを活かしてみようという意見が教職員の間で出ました。大学の教職員に個別に相談ができ、現役の大学生の生の声が聞けて、パレージョアートや手遊びなども体験できるというように、図書館に来ればそれだけでなんでもできてしまうという空間設置を目指しました。そして高校生に「もう一回来たい、ここで4年間学びたい、受験したい!!」と思ってほしい—このような願いから、この「こども教育ステーション」の開催に至りました。

Thank you!!

- 協力: (左から) 森 絵里華さん(こども教育学科1年)
リーダー* 弓田 安里沙さん(こども教育学科1年)
都築 瑞歩さん(こども教育学科1年)
佐野 あゆみさん(こども教育学科1年)
教育学部こども教育学科 大串先生



Data 3

オープンキャンパスに協力した学生に聞きました!

— オープンキャンパスに協力してみてどうでしたか? —

- 学生の立場から話ができて淑徳大学の魅力を伝えることができた
- 実際に準備に参加して自分たちが受けていた説明会にたくさんの人が関わっていたのだと知ることができ、嬉しかった
- 笑顔でしっかり挨拶すると気持ちがよいのだと分かった
- 自分の今までの学校生活の話を聞いて納得して帰っていく方が多くて良かった
- 「この大学はあたたかいですね」「第一印象がいいんです」と言っていた

オープンキャンパスには多くの人が関わっている。その学生たちの思いは見学に来た高校生に少しでも淑徳大学の良さを伝えたい、というものだろう。アンケートから熱心な学生がとても多いと感じた。

淑徳調査団 募集!

reply@soc.shukutoku.ac.jp Together 11

史の痕跡を味わいながら、歴史を楽しく学ぶことで、興味もわき、さらに調べてみたいことも出てきたようです。



NHKワールドで文芸の授業が紹介される

5月27日、国際放送「NHKワールド」で人文科学部表現学科の授業風景が放送されました。

番組では米国で活躍する日本人漫画家ミサコ・ロックスさんを特集し、ミサコさんを特別ゲストに迎えた「文芸作品研究Ⅳ(執筆の技法)」の授業が学生のコメントとともに取り上げられました。数々の挫折の末に漫画家デビューを果たしたミサコさんが実体験をもとに「好きからすべてが始まる」「待っていても何も始まらない」と語りかけると、学生は真剣な表情で聞き入り質疑応答では多くの手が挙がりました。授業では、ミサコさんのお話をもとに新聞とwebの記事で原稿を書き分ける課題が出され、学生は生きた題材から「伝える力」を磨く演習に取り組みました。



第1回 人文学部体育祭開催

6月5日、爽やかな天候の中、第1回淑徳大学人文学部「体育祭」が開かれました。

今年の体育祭はラウンドワン板橋店でボーリング大会となり、初開催でまだ決まり事がない中、体育祭実行委員は大変な苦労をしながらも、大会の運営や進行など学生たちが知恵を出し合い無事開催することができました。

ボーリング大会は人文学部学生及び教職員101名19チームが参加し、表現学科教員の足立先生の始球式に始まり、終始大変な熱気に溢れた大会になりました。



学校インターンシップにおける教員養成カリキュラム開発・実施」が採択されました。



この委託研究は、学校現場の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を育成するために、教育委員会と連携し、教員養成カリキュラム開発・実施を行うことを目的としています。

20周年記念スポーツ大会を開催

5月16日、「埼玉キャンパス20周年記念スポーツ大会2015」を開催しました。当日は1年生を中心に全学部・学年合わせて約170名の学生が参加。ゼミやサークル単位で21チームに分かれ、ドッチボールやバレーボールなど大いに盛り上



がりました。他学部・学科との交流もでき、団体同士の連携も深まるイベントとなりました。

埼玉キャンパスの就職支援がフジテレビで紹介されました

6月11日、フジテレビ「FNNスピーク」で埼玉キャンパスの就職支援の様子が紹介されました。

若い労働者への対策が喫緊の課題となっている今、これから社会に出ていく新卒者を守るための対策に力を入れている大学として取り上げられ、大学が企業に直接電話をして求人票の内容を確認する取り組み、更には優良な企業を呼んで学内説明



TOKYO Campus

歴史学科 フィールドワーク「いざ、鎌倉」

本学の歴史学科では、フィールドワークでの学びを重視しています。その一環として「日本中世史」の授業では、5月17日に鎌倉の扇谷谷地域に残る鎌倉～戦国時代の史跡を巡ってきました。

「やぐら」と呼ばれる岩窟にある北条政子のもとと伝わる墓、扇谷上杉氏と太田道灌の屋敷跡、鎌倉時代の絵図に残る寺院と街並み、鎌倉幕府滅亡時に激しい戦いが繰り広げられた化粧坂(けわいざか)。谷地形に展開された歴

H26年度 栄養学科臨地実習報告会

栄養学科1期生の臨地実習報告会が、2月27日、3月6日、5月2日に開催されました。

栄養学科臨地実習は、保健所等公衆栄養分野、病院による臨床分野、学校による給食経営管理分野の3分野を学習体験します。

当校は臨地実習の成果報告会として、指導施設の責任者を来賓として迎え、学生全員参加で行いました。報告した1期生は、3年間の学習の集大成としてそれぞれの成長を実感し、2期



生は公聴することで、27年度臨地実習への学習決意を新たにすることができました。

SAITAMA Campus

平成26年度 就職実績

埼玉キャンパスでは、「就職率」が96.3%、「卒業者に占める就職者の割合」が83.0%と、共に過去最高の結果となりました。

真の「就職に強い大学」は、「卒業者に占める就職者の割合」で100%達成する大学だと考え、埼玉キャンパスはこの割合を上げていくことを目標にしています。

今期も100%に近づけられるよう、キャンパスを挙げて取り組んでまいります。

「道の駅」との連携

就労体験型実習の基本協定を締結

本学と全国「道の駅」連絡会は、「道の駅」の交流・連携の一環として、就労体験型実習(インターンシップ)の実施にあたり、基本協定の締結を行いました。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材の育成・確保、また「道の駅」が地域活性化の拠点を目指し進化を遂げるため、若者ならではの視点を活かした企画立案や実行力を期待し実施するものです。

調査研究事業に採択されました

文部科学省の「平成27年度 総合的な教師力向上のための調査研究事業」の「テーマ3教育課題に対応するための教員養成カリキュラム開発」に、本学教育学部のプロジェクト「長期間の

体育会新入生歓迎会開催

6月4日夕刻、千葉キャンパスで学生主体の体育会新歓が学食で開催されました。

体育会には野球部や卓球部等10個の団体が所属しているが、歓迎会では、1年生73人の新部員が迎えられ、2年生から4年生を合わせると学生総数203人参加の盛況でした。参加学生たちは皆スーツで臨み、学生厚生関係の教職員も招かれ、学生幹事たちが作った次第で進められたが、終始熱気に溢れた楽しい会になりました。



CHIBA2nd Campus

新入生初のイベント お花見レクリエーション

4月1日、新入生の同士や先輩、教員との親睦を深めることを目的に県立青葉の森公園にてお花見レクリエーションが行われました。

アドバイザーグループごとに教員と先輩の先導のもと、公園内を散策しました。あいにくの天気でしたが、桜はちょうど見ごろでお花見や学生皆で考えたレクリエーションを楽しみました。



第1回 保健師卒業生との交流会

平成26年度卒業の第5期生から保健師課程が選択制となり、これまでに一番多い4名の新人保健師がこの春誕生しました。

4月からの保健師生活をイメージできるように、保健師として就職している卒業生との交流会を開催しました(2015年3月14日)。

交流会には、保健所および市町村で働いている先輩保健師、保健師として就職予定の4年生、保健師としての進路を検討している3年生の計14名が参加し、在学生、卒業生の双方にとって有意義な情報共有の場となりました。



スポーツレクリエーション祭開催

5月23日、平成27年スポーツレクリエーション祭が開催されました。約400名、35組



の団体が、長縄・綱引き・玉入れなどの競技に、団結して真剣に取り組んでいました。

この多くの団体の中で優勝したのは「チームよしふみ」でした。おめでとうございます! 惜しくも優勝を逃した団体も学生同士の親睦が深め



られ、青空の下で声援や笑い声がキャンパスに響き渡る、思い出に残る1日となりました。

保護者会開催

5月23日にコミュニティ政策学部、同30日に総合福祉学部の保護者会が開催され、2日間の参加者は両学部で250名以上を数えました。ご両親での参加も多く、各学科ともに成績の見方や就職活動、国家試験・採用試験等の話に熱心にメモを取られる姿が印象的でした。

全体会の後にはアドバイザー教員との個別面談もあり、具体的なアドバイスに理解を深められた様子でした。種々の取組みに大変好意的な感想をいただき、ありがたく受け止めると同時に、これからの大学のあり方を示唆する良い機会となりました。

第1回国際料理交流会開催



5月28日、千葉キャンパスの調理教室にて、留学生と日本人学生の相互理解を深めることを目的とした国際料理交流会が行われました。

ベトナム料理にトルコ料理、中国大陸料理と台湾料理など、普段日本では食べることのできない料理が学生と教職員の協力作業で作られました。飾り寿司の講師も来場し、かわいい巻き寿司は参加者たちの目を楽しませてくれました。



全員で協力して作った多国籍料理はとても美味しく、参加学生と教職員で楽しく交流できました。

CHIBA Campus

3年生対象「キャリアフェスタZERO」を実施

4月16日に、3年生を対象とした「キャリアフェスタZERO」を開催し、千葉第1キャンパス、第2キャンパスを含め総勢481名が参加しました。今回は「目覚めよ、社会人意識」をテーマとして、社会人として求められる資質について採用面接から探り、また株式会社マイナビから2017卒生が今やるべきことについて講演を行いました。



千葉キャンパス新入生セミナー

4月17日と18日の1泊2日の日程で、社会福祉学科と、実践心理学科は、鴨川ホテル三日月で、教育福祉学科と、コミュニティ政策学科は、生命の森リゾートで、新入生セミナーが実施されました。グループワークや宿泊研修などを通じて、新たな友人関係を築いたり、人間関係をより一層深めることができました。

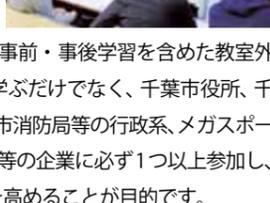
また、いちご狩りや、カレー作りなどのレクリエーションも行われ、新入生にとっては、大学生



活のスターとして、忘れることのできない思い出となりました。

サービスマーケティング基礎研修

4月24日にコミュニティ政策学部1年生参加必須のサービスマーケティング基礎研修の説明会を開催しました。事前・事後学習を含めた教室外学習の基礎を学ぶだけでなく、千葉市役所、千葉県警察、千葉県消防局等の行政系、メガスポーツ、幕張メッセ等の企業に必ず1つ以上参加し、キャリア意識を高めることが目的です。





看護栄養学部 桑原節子教授監修

適塩サポート コンビニ弁当の開発

この度、ファミリーマートと共同研究により「適塩サポート・弁当（食塩相当量2g以下）」が完成し発売されることになりました。これまで、生活習慣病予防や慢性疾患の重症化予防を心がける方は、食塩摂取やバランスを調整するために自宅から弁当を用意することを勧められてきました。お弁当の用意が出来ない方、長距離通勤の方、独居で中食利用の方、何より学生のコンディション作りにも利用していただきたいと、開発したものです。ぜひご利用いただき、よりよい商品になるようご意見をお待ちしています。



肉じゃが弁当（カレー風味）
1食あたり 445kcal



サーモンフライ弁当
1食あたり 569kcal

平成27年 **6月30日(火)**より
ファミリーマートにて
発売開始!

販売エリア

茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・
千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・
長野県・静岡県東部



淑徳大学

スペシャルナイター



千葉ロッテ
マリーンズ

VS

埼玉西武
ライオンズ

みなさんの笑顔を見るために
今年も学生が様々なイベントを企画しています!

7/30 木

18:15 試合開始
QVCマリンフィールド

当日本誌(Together207号)を見せると、内野自由席入場料

通常 2,300円→**500円**(1名様)で観戦できます。

● 本学学生証提示でも OK
※雨天の場合中止です

QVCマリンフィールド▶

チケット購入場所
当日 QVC マリンフィー
ルドにて設置される淑徳大
学ブースにて販売
(16:15~19:30)



栄養学科の

知識モリモリ × 栄養モリモリ

vol.9

今回は平岡 真実 先生に伺いました。



日焼けとビタミン

ひと昔前、いわゆる「昭和」の時代では、こんがり焼けた肌は元気の証拠。けれども平成の今、太陽光紫外線(UV)を浴びすぎるとしみ、しわだけでなく、皮膚がんや、白内障などの原因になるため、日焼けはできるだけ避けるようになってきました。

さて、日焼けやUVとなじみ深いビタミンといえばC。しみ、そばかすを防いでくれる、と人気者です。それからUVを浴びることにより皮膚で合成されるもの、逆に分解されるものもあります。前者はビタミンDで、骨の健康と深く関わっている重要な栄養素です。一方、分解されるのが葉酸です。不足すると胎児の神経管閉鎖障害や脳卒中や認知症などが起こりやすくなることがわかってきました。

私たち人類は、進化の過程でさまざまな機能を手に入れました。肌の色もその一つです。太陽光の強い赤道近辺ではメラニン化の進んだ濃い肌の色をもつことで葉酸の分解をできるだけ少なくし、太陽光の弱い緯度の高い地域では、ビタミンDの合成が進むように肌の色が白くなった、と考えられています。

編集後記

先日6限のゼミが終わり研究室に戻る途中に、キャンパス向こうの木々の上に丸い月が明るく照り、上方に旅客機がキラキラ通りかかり、手前には大学創立50周年を祝う旗が光る夜景に出会った。珍しい景色に惹かれ、思わず立ち止まり、携帯に写真を取るように頑張った。

千葉キャンパスに来て20年過ぎているが、このような月夜を見るのは初めてだ。特に50周年の旗に綺麗な月光、綺麗だった。「かわらないもの。かわってゆくこと。」この50年間はキャンパスに同じ月が光ったが、照らされるものにはどれだけ変化があったことであろう。今の我々も、何れ一コマの写真のようなものか。

Together編集に加わって4年目になる。長いようで、毎回の編集会議も思い出せそう。4年前より表紙のデザインが変わり、メンバーの入れ替わりもあるが、毎回の編集では皆熱心且つ慎重に取り掛かる。これはこれからも変わらないと思う。(雁)



「淑徳大学広報」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております!

reply@soc.shukutoku.ac.jp

千葉キャンパス

総合福祉学部/コミュニティ政策学部
大学院総合福祉研究科

千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
TEL. 043-265-7331

埼玉キャンパス

国際コミュニケーション学部/経営学部
教育学部

埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL. 049-274-1511

通信教育部

東京都板橋区前野町5-8-7
TEL. 03-5392-5768

千葉第2キャンパス

看護栄養学部

千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL. 043-305-1881

東京キャンパス

人文学部
淑徳大学短期大学部

東京都板橋区前野町2-29-3
TEL. 03-3966-7631

池袋サテライト・キャンパス

東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F
TEL. 03-5979-7061